

## 文化比較：日本とアメリカの贈り物の習慣

(Cultural Comparison: Japan and America's Gift-giving Customs)

ステファニー・クアン

Stephanie Kuang

82-272: Intermediate Japanese II

私の文化比較プロジェクトのトピックは、贈り物の習慣だ。日本とアメリカの贈り物の習慣について比較する。このトピックを選んだ理由は、両国の習慣がちょっと違うので、とても面白そうだからだ。日本人とアメリカ人の視点の違いが多いから、これを覚えて、両国の贈り物の習慣はどう違うのかを習いたい。そして、どんな国でも、人が贈り物をあげる時に、たくさんの喜びがあるから、とても興味がある。

まず、日本の贈り物の文化について書こうと思う。教科書によると、日本の贈り物をあげる季節には特別な呼び方があるそうだ。2つの時があって、7月のはじめ頃と年末だそうだ。7月の贈り物は「お中元」と呼んで、年末の贈り物は「お歳暮」と呼ぶ。そして、旅行して帰る時にたいてい「お土産」と言う贈り物を買って家族と友達にあげるそうだ。それに、贈り物をあげたりもらったりする時、とても無関心な態度を見せるそうだ。例えば、贈り物をあげる時に、「大した物じゃないんですが…」みたいな表現を言ってあげるそうだ。そして贈り物をもらった時に、日本では喜んだ顔をあまり見せないそうだ。早速贈り物を開けるのは失礼だそうだ。最後に、日本にはバレンタインデー

とホワイトデーがある。バレンタインデーは2月14日で、その日に女性が男性にチョコをあげる。そしてバレンタインデーの1ヶ月後の3月14日は、ホワイトデーで、お返しに男性が女性に贈り物をあげる。その贈り物はたいていクッキーやマシュマロなどだそう。ホワイトデーはたいていお返しの休日だそう。男子がバレンタインチョコをもらわなくても、ホワイトデーに贈り物を女性にあげられるけど、そうすればその男性の気持ちはちょっと明白でしょう。

次に、アメリカの習慣について書いて、アメリカと日本の文化を比較する。まず、アメリカでは贈り物をあげる時は2つあって、クリスマスと人の誕生日だ。でも、日本と違い、その贈り物は特別な呼び方がない。次に、日本と同じく旅行から、帰った時お土産をあげる。次に、日本と違い、アメリカ人は贈り物をあげる時ともらう時に、喜んだ顔を見せてもいい。実際、興奮していないみたいな表現はアメリカ人にはちょっと失礼だ。そしてアメリカではたいてい贈り物をすぐに開けるのは普通だ。最後に、アメリカにはバレンタインデーもあって、その日は2月14日だ。でも、日本と違い、誰でも誰にでもチョコ、花、その他の贈り物をあげてもいい。そしてアメリカにはホワイトデーがない。だからバレンタインデーに男性も女性もカップルとしてこの祝日を祝う。贈り物以外、カップルはデートに行って良い思い出を作ったりする。お花や宝石などな他の贈り物もあげる。

次に、もっと日本の贈り物の習慣を習うために、日本人ゲストに質問をいくつかした。まず、象徴的な贈り物が日本にはあるかどうかを聞いた。あまりないそうだが、卒業時にスタンプをあげて、結婚する時に新郎新婦にお箸を2組をあげるそう。そして

次に、先輩や上司に感謝の贈り物をあげるかどうかと聞くと、先輩にはたいてい贈り物をあげないけど、上司にはお中元とお歳暮の時に 3000～4000 円の値の贈り物をあげるそうだ。大人と子供にあげる贈り物の違いも質問した。それは アメリカの習慣とあまり変わらないそうだ。たいてい子供に好きな物をあげて、大人にはマナーや礼儀などを考えなければならないから、その贈り物はもっと慎重に決めるそうだ。あげないほうがいい贈り物について、白いお花は死を象徴するから絶対にあげないほうがいい。そして最後に、日本で一番大切な休日があるかどうかを質問すると、お正月が結構大切だそうだ。この休日には仕事も止まるし、みんなが祝うそうだ。その質問を日本人にした後で、日本の贈り物の習慣をもっと習ったので、やっぱり日本とアメリカの習慣が違うと思った。

私の意見では、日本の文化のほうがアメリカの文化よりもっときびしいと思う。日本にはアメリカより厳しい態度とアプローチがあって、日本人はアメリカ人より丁寧だ。日本の贈り物の習慣をを調べた後で、たくさんのルールがあるのを見た。贈り物をあげる時に、きびしい言い方、あげ方、と買い方もある。それをアメリカと比較すると、アメリカでは人がもっと自由な態度で贈り物をあげる。でも日本と同じく、アメリカの贈り物の習慣はとても嬉しい習慣だ。結論として、たしかに習慣は国によって違うけど、どんな国でも、贈り物をあげたりもらったりするのは大切に美しい文化の一部だ。